

# 平成18年10月期 レーダー級海上特殊無線技士 試験問題

法規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問 }

## 法 規

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

〔1〕 次の記述は、電波法の目的に関する電波法の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「この法律は、電波の公平かつ□な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。」

1. 能率的
2. 合理的
3. 適正
4. 有効

〔2〕 再免許を受けた無線航行移動局の免許の有効期間は、次のどれか。

1. 無期限
2. 5年
3. 4年
4. 3年

〔3〕 次の記述は、船舶に設置する無線航行のためのレーダー(総務大臣が告示するものを除く。)の条件に関する無線設備規則の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「その船舶の航行の安全を図るために必要な音声その他の音響の聴取に妨げとならない程度に□が少ないものであること。」

1. 騒音
2. 内部雑音
3. 機械的雑音
4. 電氣的雑音

〔4〕 無線従事者が免許証を失って再交付を受けた後、失った免許証を発見したときにとらなければならない措置は、次のどれか。

1. 発見した免許証を速やかに廃棄する。
2. 発見した日から10日以内にその旨を届け出る。
3. 発見した日から10日以内に再交付を受けた免許証を返納する。
4. 発見した日から10日以内に発見した免許証を返納する。

〔5〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。
2. 通信室内に保管する。
3. 無線局に備え付ける。
4. 携帯する。

〔6〕 レーダー級海上特殊無線技士の資格を有する者が行うことができる海岸局、船舶局及び船舶のための無線航行局の無線設備の操作の範囲は、次のどれか。

1. レーダーの外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作
2. レーダーで電波の質に影響を与えないものの技術操作
3. レーダーの外部の調整装置の技術操作
4. レーダーのすべての技術操作

# 法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定である。□□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、□□ に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

1. 通信の相手方
2. 特定の相手方
3. すべての相手方
4. すべての無線局

〔8〕 無線局を運用する場合において、空中線電力は、遭難通信を行う場合を除き、次のどれによらなければならないか。

1. 免許状又は登録状に記載されたものの範囲内で通信を行うため十分なもの
2. 免許状又は登録状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最小のもの
3. 通信の相手方となる無線局が要求するもの
4. 無線局免許申請書に記載したもの

〔9〕 無線従事者がある免許を取り消されることがある場合は、次のどれか。

1. 免許証を失ったとき。
2. 日本の国籍を有しない者となったとき。
3. 電波法に違反したとき。
4. 引き続き6箇月以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔10〕 臨時検査（電波法第73条第4項の検査）が行われる場合は、次のどれか。

1. 無線局の再免許が与えられたとき。
2. 無線従事者選解任届を提出したとき。
3. 無線設備の変更の工事を行ったとき。
4. 臨時に電波の発射の停止を命じられたとき。

〔11〕 免許人は、免許状に記載された事項に変更が生じたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 免許状の訂正を受ける。
2. 再免許を申請する。
3. その旨を報告する。
4. 直ちに届け出る。

〔12〕 再免許を受けた無線局は、従前の無線局の無線検査簿をどのように取り扱わなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 旧免許状とともに返納する。
2. 新たなものに取り替える。
3. そのまま継続して使用する。
4. 1年間保存する。